

高品質な酒米の安定生産により地域の酒造りを下支え

ごきょうのうてん
～五橋農纏 株式会社～

経営体の概要

法人設立時：平成27年
基幹作物：水稻（酒米）
経営面積：2ha

現在：令和7年
基幹作物：水稻（主食用米、酒米）
経営面積：12ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 狭小不整形かつ排水条件が悪くほ場も分散しており、非効率な営農条件。
- 農業機械が入れないような農地を中心に耕作放棄地が増加。



【現在】

- 国営南周防土地改良事業（平成23年～）により、大区画・整形・汎用化された水田が整備されたことで、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 換地を通じて、分散錯圃が解消し集積・集約化が進んだことで、経営規模の拡大が可能となった。



営農改善、経営転換等のポイント

①事業参入の契機

酒井酒造（株）は山口県産米100%での日本酒醸造にこだわりを持ち、伊陸地域において、平成8年から酒米の生産を開始し、平成27年に同社100%出資の農業生産法人である「五橋農纏（株）」が設立された。



山田錦（酒米）

②営農条件の改善

事業にて区画整理や暗渠排水の整備が行われたことで、農業機械利用の利便性が向上するとともに、用水路の整備や農地が圃区内に利用集積されたことで、農業用水の効率的な利用が可能となり、経営規模が拡大した。また、酒米・主食用米ともに複数品種を栽培し、作業時期の分散を図っている。さらに、農業用ドローンの導入により、除草・防除作業の省力化を図っている。



酒造りの様子

③地域農業の活性化

「酒造りは米造りから」という考えの下、社員自らが春から秋に水稻栽培、冬から春に酒造りを行っている。また、伊陸地域の酒米組合において、情報交換を通じた倒伏の防止等のための栽培技術の確立や、表彰によるモチベーション維持が図られている。なお、酒井酒造（株）は全国新酒鑑評会で3年連続の金賞を受賞するなど高い評価を得ている酒蔵であり、伊陸地域で生産される酒米は地域の日本酒生産を下支えしている。



生産された日本酒

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：山口県光市、柳井市、熊毛郡田布施町
受益面積：577ha
事業期間：平成23年度～令和10年度（予定）
事業目的：区画整理、排水改良等
主要工事：区画整理 390ha、農業用排水 36ha、暗渠排水 182ha

位置図



<問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：086-224-4511
（内線：2562）

（令和7年度調査時点）